

夏原の施工事例紹介vol.12

京セラ八日市工場

京セラ八日市工場の新築工事は、度重なる計画変更や予期せぬトラブルが続出する、困難を極める現場でした。先の見えない状況で、プロジェクトを率いた夏原社長、現場を支えた職長たちは何を思い、どう乗り越えたのか。それぞれの立場から語られる苦労と学び、そして共に汗を流した仲間への感謝の言葉から、次へとつながる仕事の神髄に迫ります。

現場名:京セラ株式会社
滋賀八日市工場3-9工場
新築工事
工期:2024年9月～2025年3月
工事に関わった人数:2000人



なつはら そうすけ
夏原 崇介社長

受注の経緯

▶ 培ってきた信頼関係から仕事につながった

元請けの大和ハウス工業から、以前担当した『3-8』に続き、次の『3-9』もお願いしたい」と声をかけていただきました。先方の所長とは15年以上のお付き合いで、京都での大きな現場はほとんど当社に任せていただいています。根底には、**職人さんたちの確かな仕事への信頼がある**と自負しています。以前よりも大規模な現場のため「きれいに仕上げよう」と身を引き締めて臨みました。

現場での苦労と学び

▶ 「待った」の連続から、計画が遅延

大きな現場に意気込んで乗り込んだものの、元請けと施主様の間の調整に時間がかかり、なかなか計画通りに進みませんでした。「まだ決まっていないから待ってくれ」「変更になるからまだ着手しないで」という指示が続出。大人数で一気に進められず、**少人数でできるところから少しずつ手掛ける、いわば「だらだら」とした進行**になってしまいました。職人さんたちも、先の見えない状況で段取りの変更が多く、ストレスが溜まったと思います。やったものを壊してやり直す、一歩進んで二歩下がるような場面もありました。

▶ 苦い経験から得た「先回りする力」

「もっとうまくやりたかった」という思いはありますが、苦しい経験は大きな学びにつながりました。特に、今回のような特殊な工場の内装工事には、**特有の知識が必要**だと痛感。さまざまなことを経験し「この用途の工場なら、この設備が先についていないと作業ができないはずだ」といった予測ができるようになりました。今後は、打ち合わせ段階で我々から「これを先に確認しておかないと後で困りますよ」と**先回りして提案できるようになると**考えています。それが今回の何よりの収穫でした。



職人の方々へ

円滑に進まない現場で、職人の皆さんには大きな負担をかけてしまい申し訳ありませんでした。しかし、大和ハウス様からは「よくやってくれた」と労いの言葉も。皆さんが困難な状況でも要望に応え、仕事の進め方を工夫してくれたおかげです。次の現場では、今回の経験を糧にして、もっと効率良く仕事を進められるように、皆で力を合わせましょう！

下地職長を務めました！



京都高建株式会社
ぬまざき しんや
沼崎 伸也さん

下地職長として配慮したこと

▶ 綿密な連携と確認による円滑な進行

この現場は、これまでで最も変更の多いプロジェクトでした。私は下地職長として、日々変化する状況に丁寧かつ迅速に対応することを心がけました。図面の内容を含め、少しでも疑問があれば監督に確認し、**常に最新かつ正確な情報を把握するための連携を徹底**。この細やかな確認と対応が、プロジェクトを円滑に進める上で何よりも重要だと改めて実感しました。

最も印象に残っている出来事

▶ 直面した課題と学び

この現場は、頻繁な変更と約7.5mの高所作業が特徴でした。特に、急な壁の位置変更で、エレベーター設置のためその日のうちに3cmというシビアな調整が必要になった際は、4～5人で協力し、一度作った壁を解体して再設置。他の作業と並行しながらチーム全員で力を合わせ、問題を無事に解決できたことは、私たちの**協力体制と達成感を象徴する出来事**でした。

共に汗を流した職人たちへ

半年間、厳しい環境下で文句一つ言わず作業をやり遂げた職人の皆さんには感謝しかありません。「できることは何でもやるで」という言葉は大きな支えとなり、その協力があってこそ、私たちは困難を乗り越えられたと心から感じています。

ボード職長を務めました！

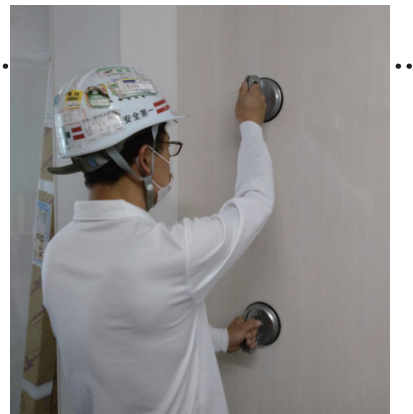


えんどう しょういち
遠藤 彰一さん

ボード職長として配慮したこと

▶ 限られた資源を円滑に回すための調整

今回の現場は高所作業が多く、限られた作業車と材料搬入の制約がある中で、円滑な作業進行に注力しました。**他業者との職長会議で作業車の使用交渉を行い、全体の工程調整を徹底**。また、材料は1週間以上前の発注が必要だったため、現場の進捗を正確に予測し、事前の段取りを重視することで、滞りなく作業を進めることができました。



最も印象に残っている出来事

▶ 設計の手違いで発生した手戻り工事

今回の現場では、**一度完了した箇所での手戻り作業**が発生してしまいました。設計上の手違いから、壁の内側に仕込むべきものが入っていないことがわかり、すでに貼り終えたボードを急遽修正することになったのです。作業場所は天井の高い難しい箇所、しかもボードは21mmの分厚く重いもの。高所作業車の手配は難しかったため使用せずに剥がし、他業者の方の作業を挟んでから、また復旧作業に着手……。通常2、3日で終える作業に、1週間ほどを要しました。

共に汗を流した職人たちへ

予期せぬ事態においても、職人の仲間たちは不平一つ言わず、黙々と作業にあたってくれました。特に今回の現場は、エレベーターがない中で重い道具を階段で運ぶなど、大変な場面も少なくありませんでした。それでも真摯に仕事に向き合ってくれた彼らには、本当に頭が下がります。皆がいてくれたからこそ無事に乗り越えられたのだと、心から感謝しています。

京都高建株式会社へ贈る

～感謝のメッセージ～

私たちの事業に欠かせない大切なパートナーである、京都高建株式会社の皆さん。今回は、普段なかなか伝えられない「ありがとう」の気持ちを、現場での印象深いエピソードと共にご紹介します。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします！

夏原株式会社
なつはら そうすけ
夏原 崇介社長

京都高建株式会社さんとの印象深いエピソード

会社に入って何年かの間、私の仕事を引き受けてくれる職人さんは、ほぼいませんでした。そうしたズタボロ状態の私に、高橋さんが「これからお前の仕事は俺がやる!」と仰ってくださったことは、**一生の宝物**です。もう出会って20年以上ですが、あのときの気持ちは今も忘れていません。これからもよろしくお願いいたします。



～感謝のメッセージ～

高橋さんが夏原株式会社の仕事を受けてくださるようになって、**会社の未来が変わりました**。大きな現場はi建装に頼りきりだった20年前から、状況は激変!今は京都高建を中心に夏原株式会社専属の職人さんで、スーパーゼネコンの仕事を堂々と担当できるほどに成長しました。これもすべて、**高橋さんと力を合わせてこられたからこそ**。本当に感謝しています!



営業工事課 課長
おのうえ けんじ
尾上 賢司さん

京都高建株式会社さんとの印象深いエピソード

入社してまだ何もわからなかった頃の話です。初めて京都高建株式会社さんと現場をご一緒した際、作業を進めるたびに材料が足りなくなり、1日で計4回もトラックで往復したことがありました。そのとき、**職人さんの手を止めさせないことや段取りの重要性など、多くのことを学ばせていただいたことを覚えています**。

～感謝のメッセージ～

いつもありがとうございます!ここ2～3年は、仕事をご一緒することが多くなりました。人の段取りなど、**多くの気づき**をいただき感謝しております。



えんどう しょういち
遠藤 彰一さん

京都高建株式会社さんとの印象深いエピソード

ボードの材料搬入があったときの事です。その日は荷揚げ業者がおらず、数量も多く時間制限もあったため、自分たちだけでは厳しいかなと思っていました。その際、京都高建株式会社の職人さんたちが、**自主的に手伝いに来てくださったのです**。あのときは本当にありがとうございました。

～感謝のメッセージ～

下地作業を工程よりも早く終わらせてくださることが多く、貼り屋の工程に余裕ができるため、**いつも助かっています!**

夏バテとおさらば 夏の疲れを残さない! 9月を乗り切る体調管理法



油断は禁物! 秋こそ熱中症に要注意

「熱中症は真夏だけのもの」と考えていませんか?実は9月も警戒が必要です。涼しくなると、つい水分補給を怠りがちなもの。結果、**体の「深部体温」が上昇しやすくなり、体の不調に繋がります**。少し秋風が吹いても油断せず、対策を継続しましょう!

現代型夏バテ、「冷房バテ」を乗り切ろう

その不調、冷えが原因かも?

食欲不振やだるさなどの症状は、冷房が原因の「**冷房バテ**」が引き金になっていることもあります。暑い屋外と涼しい室内を何度も行き来する方、一日中冷房の効いた部屋で過ごしている方も要注意です。オフィスではカーディガンを羽織るなど、服装でこまめに調整しましょう。

また、冷たい飲食物の摂りすぎは、胃腸の働きを低下させる「**食冷えバテ**」に繋がります。ホットドリンクや湯たんぽなどを活用して、体を芯から温めましょう。

夏こそゆっくり湯船に浸かる!

入浴をシャワーだけで済ませず、**38度程度のぬるめの湯船に浸かる**のも有効です。血行を促進し、リラックス効果で夏の疲れを癒してください。

おやすみ前は明かりを落として

寝る直前に強い光を浴びるとメラトニンの分泌が減り、睡眠バランスが乱れやすくなります。**就寝の1時間前**にはPCやスマートフォンなどをオフにし、部屋を暗くするのがおすすめです。ナイトモードやブルーライトカット眼鏡も活用し、自律神経を整えてぐっすり快眠を目指しましょう。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時季。今回は、9月にこそ気をつけたい「熱中症」と「夏バテ」について、今日からできる対策を紹介します。自身と大切な人の体を労り、元気に秋を迎えましょう。

◆今日からできる熱中症対策◆

その1. 適切な温度と湿度を保つ

熱中症は、屋内でも発症します。冷房やサーキュレーターをうまく使い、温度と湿度を適切に保ちましょう。深部体温を細かく計測できるウェアラブル端末を活用するのも一案です。

その2. ほど良い水分補給を意識する

のどの渇きを感じる前に、こまめな水分補給を心がけましょう。お茶やコーヒーは利尿作用があるため、水やスポーツドリンクがおすすめです。屋外では、水分に加えて塩分も意識的に摂取してください。

その3. 健やかな生活リズムを心がける

忙しい日、食事を抜いてしまっていないですか?夜ふかしをしすぎて、寝不足のまま仕事へ向かう人もいるかもしれません。朝昼晩にしっかりと栄養を摂り、早寝早起きで生活リズムを整えましょう。

夏バテ知らずの体をつくる食事術

アレンジレシピで夏の疲れを吹き飛ばそう!

夏はそうめんなど、のどごしの良い炭水化物に食事が偏りがちです。疲労回復に役立つ以下の食材をプラスして、バランスの良いオリジナルレシピを作ってみましょう!



たんぱく質

肉類や
魚介類、
卵、乳製品

ビタミンB1

玄米や豚肉、
うなぎ、豆類

アリシン

玉ねぎや
ニンニク、
ニラ、ネギ

これらにカレー粉やミョウガなどのトッピングを加えるのも効果的。旬の食材をうまく組み合わせ、楽しく夏バテを予防しましょう!